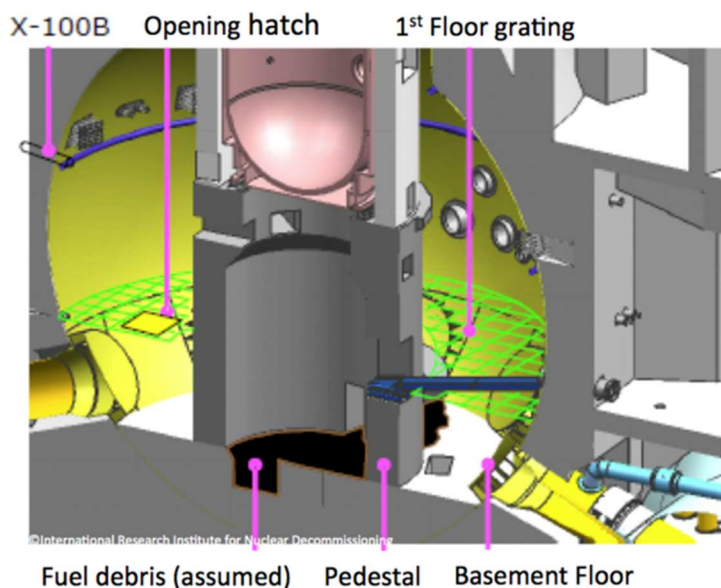


## 遠隔デブリ検知技術の精度向上

本廃炉公募テーマは、受付を終了しています。

### 募集内容



下記の課題に対する

・技術提案

を募集します。ご提案は、下記ボタンよりご投稿ください。

【課題・現在の取り組み】(2017.10.24 更新)

2017年3月に実施した1号機ペDESTAL外デブリ有無調査(B2調査)においては、PCV内グレーチング上に挿入したロボットから下方約3.5mのPCV床面に向けてカメラと放射線計測器からなる計測装置を吊り下ろし、PCV床面(ペDESTAL外側)のデブリ有無を確認した。重量や形状等の制約により搭載する計測器はガンマ線計数率のみを計測し、燃焼計算及び代表核種によって仮定したデブリ線源を用いたデブリ分布解析結果と、計測される限定的な空間線量率分布を比較することで、デブリ分布の推測を実施。

代表核種の分布仮定の確からしさなど、ガンマ線計数率のみからのデブリ分布の推定には不確定性が大きいことが課題。

【関連情報、課題の背景など】(2017.10.24 更新)

中長期ロードマップ

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/hairo\\_osensui/dai3/index.html](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/hairo_osensui/dai3/index.html)

IRIDシンポジウム2017「燃料デブリの取り出し」

[http://irid.or.jp/\\_pdf/Sympo2017\\_Kiyoura.pdf](http://irid.or.jp/_pdf/Sympo2017_Kiyoura.pdf)

【知見入手希望時期、関連マイルストーン】(2017.10.24 更新)

2019年度 初号機の燃料デブリ取り出し方法の確定

2021年内 初号機の燃料デブリ取り出しの開始